

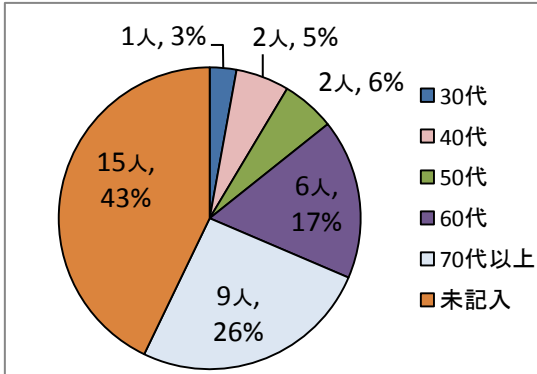
東京大学果樹園跡地利用 町民意見募集結果概要

実施期間:平成24年6月11日から平成24年9月30日

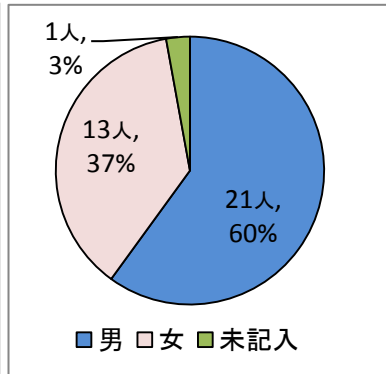
提出提案数:35

1. 年齢構成等

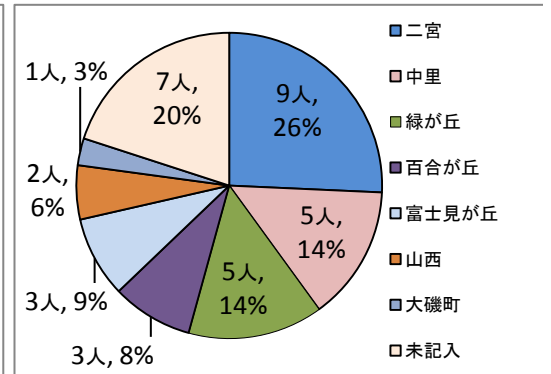
< 年齢構成 >



< 男女比 >



< 地区別 >



2. 提案概要

< 暫定利用 >

果樹園・オリーブ	小田原厚木道路北側の空地にはオリーブを植える。果物は実がなるようにし、収穫時に安値で販売する	男性	70代以上
	山すそ等にオリーブを植栽	男性	-
	果樹公園のような形で果樹を栽培。町民に開放して公園のような所として利用する	女性	40代
	果樹園ゾーン:旧果樹公園の運営ノウハウを活かす。ボランティアグループの育成	男性	70代以上
	果樹園の再生、老朽化した建造物の補修、周囲を季節の花が彩る広場とする	男性	-
農園	ふれあい農園のように町民に有償で貸し出す	男性	60代
	収穫体験農場(野菜・果物・花卉) 野菜・果物・切花の収穫を楽しむ(有料)	女性	70代以上
	貸農園ゾーン:大きめの区画で5年くらいの中長期契約	男性	70代以上
	アグリパーク「農業公園」を暫定から将来利用に順次解放	女性	-
公園	「町民の憩いの場」及び「災害時避難場所」として「森林公園」とする	男性	70代以上
	森林公園ゾーン:池を活かす。散策路をつくる	男性	70代以上
	土地はなかなか買えないので大切にしたい。果樹公園や風致公園の用に自然を残した公園	女性	60代
	フルーツ&ガーデニング公園	男性	60代
パークゴルフ	有料のパークゴルフ場	男性	60代
	パークゴルフ場を作る。使用料金を取り、管理人を雇うことで、高齢者の働く職場を増やすことができる	男性	-
	ミニミニパークゴルフ場ゾーン:ゴルフ協会が、企業、ライオンズクラブ等と協力し造成	男性	70代以上
集会施設	小規模な高齢者用娯楽会館を建設する	男性	70代以上
	学生宿舎の清掃整備:ボランティアを募集する。畳を板張りにして集会施設に使用できるように園の整備の拠点とする	男性	70代以上
防災関係	広域避難場所となっていることから、中里に無償で貸し出す。災害時の防災拠点として利用し、日常の整備も含めて自主管理する	男性	60代
	建物は、防災センターとして活用	女性	70代以上
太陽光発電	太陽光発電の試験的な場所	男性	70代以上
	メガソーラー発電所。一口10万円で町民に出資を募り、発電した電力を東電に売って、得た収益を配当する	男性	-
その他	緑化の整備。当面は憩いの場として利用	男性	60代
	町営キャンプ場	男性	40代
	町民主体の果樹園再生、研修活動。同時に青少年自然アドベンチャー、サバイバル公園	男性	70代以上
	樹木の整備育成、果樹園の再生、建物も歴史的価値があるので修理保存し、自然豊かな散策地域に活用	男性	70代以上
	残る建物は、町で補修工事を行い、存続させ利用する。地元での集会やイベントに使用する。フィルムコミッション利用や町内外のハイカーの立ち寄り場所。休憩スペースや資料スペース	男性	60代
	子どもたちが遊べて、キウイフルーツを食べてもらい楽しむことができるようにする	女性	60代
	古跡の調査(町民主体)	男性	70代以上
	住民連携組織の運営による再生活動自体を講座にした「コミュニティ大学」	女性	-
	青少年を対象とした「総合的体育施設」(グラウンド、プール等)	男性	70代以上
	定期的に町民に開放する	男性	50代

<将来構想>

農園	イングリッシュガーデン、貸し農園(クラインガルテン)	男性	50代
	収穫体験農場(野菜・果物・花卉) 野菜・果物・切花の収穫を楽しむ(有料)	女性	70代以上
	ぶどう畑にし、収穫時に有料で摘み取りができるようにする	男性	70代以上
	観光農園にも利用し、果物の収穫の楽しさを味わってもらう。芝の広場を作り、子連れの親子が遊べる空間も併設する	男性	70代以上
	貸し農園	女性	-
	小田原厚木道路の上のみかん畑だったところ、4,000平方メートルも当面は家庭菜園として住民に貸し出す	男性	-
	町営の農業試験場・コミュニティスペースとして利用	中里	男性
公園	管理公園的施設をつくる。名称:(仮名)二宮竹文化保存竹林公園	男性	-
	大きな公園とし二宮町を「安全でゆとりある 子育ての町」とアピールして新たな住民を増やす	-	-
	農菜園のあいだに遊歩道を設け、町民が散策できるようにする。また、小田原厚木道路の上は、眺望を活かして町民が屋外で食事をしたり、果樹園を眺めたりできるエリアとする	男性	-
	自然の景観を活用して、町民の憩いの場である自然公園	女性	70代以上
	災害時の長期に渡る避難所として利用できるよう、敷地確保して緑の公園として活用する。長期計画により鉄筋の耐震建物で避難場所として利用できる建築を願う	男性	-
	立地条件、活用状況、設備予算などを吟味し、必要な場合は急がず風致公園が一番無難	女性	60代
	市民で運営できるスペースの庭園があると良い	女性	60代
果樹園・オリーブ	小田原厚木道路の空地はオリーブ畑とする	男性	70代以上
	「オリーブの町 へのみや」と名打つならば、町営オリーブ農園	女性	60代
	土地をほぼそのまま有効利用し、果樹や野菜を育て、その「農産物」や「苗」を町民に提供する	男性	-
	吾妻山とセットで果樹園としてアピール	男性	50代
	全国唯一のリンゴのみかんが収穫出来る農園を東大が開園したことをメインテーマに果樹公園として整備し小中学生のフィールドワークに利用できる設備を整えていく	男性	70代以上
太陽光発電	町の電気を作り、町民はそこから電気を購入する	-	-
	箱ものをつくるのは得策ではない。太陽光発電を継続させてもよい。一部この電力を利用して熱帯果樹を育てる事業を展開する。オリーブと複合させて、フレッシュ・フルーツタウンとして全国的に定着させる	男性	-
	小田原厚木道路の上はソーラー発電所として利用する	男性	-
カフェ	建物をリフォームして、レストランやお土産を販売する。(cafeも)	男性	50代
	建物をリフォームしてCAFEレストランやおみやげ屋、ハーブや果物を販売する店	女性	-
	建物は補強し、1階を喫茶店、2階はギャラリーやミニライブ会場とする	女性	60代
温泉	近くの温泉スタンドを使って公共の湯として銭湯をつくる(一部民間委託)	女性	70代以上
	となりの温泉スタンドを買って、温泉施設	女性	-
	温泉スタンドを買って、小さな温泉をつくる	男性	50代
イベント広場	高齢化社会対応に向け周辺地域の近未来の再開発への展開も視野に入れ、オリーブ関連を基軸とした「総合アウトドア イベント広場」を創造する	男性	-
	定期的に「ファーマーズ・マーケット」を開き、農産物や特産品を販売する。また宿舎を改修して集会所として町民に解放したり、イベントや展示会に利用	男性	-
学校	学校教育の一元化と効率化を図るため、小中一貫校を建設する	男	70代以上
	養護学校	女性	-
子どもと遊べる施設	子どもが雨でも晴れでも思い切り遊べる場所	女性	30代
	小田原のマロニエのような雨の日でも子どもが集まれる無料の施設	女性	-
憩いの場	うつくしい植栽の町民ガーデンとして観光客がくる憩いの場	女性	-
	ラディアン地域を行政文化施設地区として一体活用し、当該地は自然を生かした町民憩いの場	男性	70代以上
その他	収穫された果物や野菜を使って料理教室や栽培教室を開く。町民や子どもたちに向けて食育を兼ねたカルチャーセンターのような施設とする	男性	-
	町営キャンプ場、バーベキュー場、レクリエーション施設(子どもと遊べるもの)	男性	40代
	循環社会モデルパーク「二宮版”ダッシュ村”計画」	男性	-
	中規模人口地域医療「ドクタービレッジ」計画」	男性	-
	住民が主役の共育まちづくりを進めるまちなか遊学文化村構想	女性	-
	オリーブを主体にみかん等二宮町の特産物の総合開発の拠点とする	男性	-
	発展型として、農産物の加工や発酵醸造施設をつくり特産品を開発する	男性	-
	バラを植え「湘南バラ園」として有料で運営する	男性	70代以上
	入浴施設、センター施設などは長期計画で、最終形態に向けて完成させる	女性	-
	災害時の仮設住宅敷地用地と、災害時ヘリポート用地として27,000平方メートル確保する	男性	-
	二宮インターからも至近であることから「道の駅」のような施設として町外からの来訪者に特産品をアピールする展開も考えられる	男性	-
屋外活動ができるようにする(バーベキュー、アスレチック的な遊び場)	男性	60代	